

板荷小地域コーディネーター 中津あけ美さん



Q 地域コーディネーターになったきっかけは何ですか？

10年以上前から、板荷のボランティア組織「一洗舎クラブ」でボランティアとしてお手伝いしていました。前任のリーダーが引退するにあたり、2代目のリーダーとしての声がかかりました。リーダーという責任は重いので躊躇しましたが、私でお役に立つことがあるならと、お引き受けしました。リーダーになって2年目です。



一洗舎クラブ

板荷小は、明治6年に創設され、その時の名前が「一洗舎」といったそうだ。名前の由来は、そこから来ている。平成24年に、県の教育委員会より一洗舎クラブに感謝状が贈呈された。

地域コーディネーター対象の研修会を1年間に数回受けました。

県教育委員会主催；「地域コーディネーター養成研修会」

県総合教育センター主催「地域学校協働活動推進員養成講座」

市教育委員会主催；「鹿沼市地域学校協働活動研修会」

この中で、総合教育センターの養成講座は、連続受講ということで、5回受けたのを覚えています。ここでは、認定証をいただきました。また、この研修では、生涯学習課のAさんも一緒だったので、心強かったです。さらに、他地区の方と情報交換ができて、貴重な機会となりました。

今年度の総合教育センターの研修では、研修を受ける側ではなく、研修の講師を依頼されました。8月に開催された「学校と地域の連携推進セミナー」の中で、パネルディスカッション「学校と地域の連携を深めよう」という講座のパネリストとしてでした。コロナ禍でZOOMの研修となりました。パワーポイントの使い方に不慣れだったため、ドキドキしましたが、終わってみてほっとしました。また、自分の発表に質問して下さった方がいて、よく聞いて下さったんだなあと思い、ありがたかったです。

学校と地域で子どもを育む活動の充実のために

学校と地域の連携推進セミナー 開催要項

- ◇対象 ○学校と地域の連携した活動や地域で子どもを育む活動に携わっている方
○県・市町の社会教育関係職員・教職員
- ◇定員 100人 ※オンライン（Zoom）で実施します。
栃木県総合教育センターに集合しません。

ねらい

複雑化、多様化が進む社会の中で、子どもたちにこれからの時代を生き抜く力を育むためには、学校と地域が連携して、子どもたちの成長を支える基盤をつくる必要があります。本研修では、多様な子どもへの関わり方や持続可能な仕組みづくり、学校と地域の連携を推進するためのつながりづくり等について必要な知識・考え方を身に付けます。

※研修の中止や研修内容が変更になる場合があります。
Webサイト「とちぎレインボーネット」で、必ず御確認ください。

◇ 研修プログラム ◇

回	期日/時間	内容	講師
1	Zoom 6/1(水) 9:30~12:00 入室開始 9:00~	講話 「子どもを理解しよう～子どもの発達に応じた大人のかかわり方～」	宇都宮共和大学 教授 土沢 薫 氏
2	Zoom 6/15(水) 13:00~15:30 入室開始 12:30~	講話 「今、なぜ地域と学校の連携・協働が求められているのか」 ※「地域とともにある学校づくり」推進フォーラムを兼ねています。	国立教育政策研究所 総括研究官 志々田 まなみ 氏

回	期日/時間	内容	講師
3	Zoom 8/9(火) 13:00~15:30 入室開始 12:30~	パネルディスカッション 「学校と地域の連携を進めよう」 研究協議 「連携を進め、活動を充実させよう」	茂木町教育委員会事務局生涯学習課長 堀江 順一 氏 茂木町公営塾「ゆずも塾」講師 米村 直人 氏 大里 りか 氏 県立茂木高等学校教諭 木村 真也 氏 宇都宮市教育委員会事務局生涯学習課 社会教育主事 加藤 裕史 氏 鹿沼市生涯学習センター 地域コーディネーター 中津 あけ美 氏 総合教育センター職員

総合教育センターHPより



研修会ではこのような
質疑応答がありました。

質問

地域コーディネーターとして活動する中で、課題と思うことは何ですか？

中津さんの答え

人材の確保が一番の課題です。児童数減少に伴い、保護者も減少しました。また、保護者も仕事をしている人が多く、ボランティアの確保が難しいのです。学校と相談して、チラシを作り、コミセンに頼んで全戸数配付してもらいました。また、学校に必要な支援を聞いたところ、一番が草刈でした。そこで、やってもいいという近隣の人がいたので、募集を始めました。もうひとつ、地域住民は「ボランティア」に固いイメージがあるようです。「気楽に来てね。」と声をかけています。

Q コーディネーターの主な仕事は何ですか？

①学校とボランティアの連絡調整

②学校の要望の聴取

学校の要望が高かったのが「草刈」です。そこで、上記の質疑にお答えしたように対応しました。地域を巻き込み、地域にボランティア募集のチラシを配布しました。



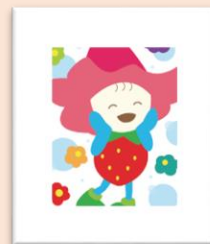
Q 学校と地域の連携はどのように行っていますか？

地域連携担当の教務からボランティア募集の電話があると、要望に合ったボランティアを紹介しています。その際、なるべく学校に足を運ぶようにしています。



Q コーディネーターのやりがいは何ですか？

- ①授業支援の時、それまでできなかった児童ができるようになった時の笑顔を見る時、また児童の出来上がった作品を見る時
- ②環境支援として、草刈を行い、きれいになった校庭を見た時
- ③ボランティア募集のチラシを作って、申し込みがあり、出来上がったボランティア名簿を見た時
やってよかった、やった甲斐があると感じます。



Q コーディネーターの苦労は何ですか？

研修会の質疑応答で述べたように、**人材確保**です。ボランティア人口の減少が課題です。理由としては、

- ①子供たちが卒業して保護者が減っていく。
- ②そもそもPTA会員（保護者世帯）が減っている。
- ③働く人が多くなった。日中空いている人がいないという、時間的問題。
人材確保が一番の苦労です。

Q コミスクでの連携・協働はどのように行っていますか？

学校運営協議会の委員ではありませんが、協議会でボランティア関係について依頼くだされば、地域コーディネーターとしての役目を果たしたいと思います。



板荷小は、板荷中と合同でひとつの運営協議会を持ちました。板荷地区の子どもたちの健全育成や地域について話し合います。

Q 最後に何かお話ししておきたいことがございましたら・・・

- ・地域の方は、学校は敷居が高いと思う方もいます。そんなことはないので気軽に声をかけてほしいと思います。**ボランティアは、グループLINEがあります。「できる時に、できる人が、できることを」という意識で、年に1回でもいいので、できることをやってみようかのくらいの気持ちで、ボランティアに登録してほしいなあと思います。**
- ・小学校だけでなく、中学校でも依頼されればボランティアを行っています。特にコサージュ作りは好評です。もし他地区で、コサージュ作りの講師がいなくて困っているときは、お声をかけてもらっても大丈夫です。



中津さん、お仕事がお忙しい中、インタビューを受けてくださり、ありがとうございました。

インタビューの日は、ミシンボランティアとして、5年生のエプロンづくりのお手伝いをしてくださっていました。

板荷の子供たちの子供らしい素直さと、きちんと敬語を使って話している礼儀正しい姿を見て、中津さんのような地域の方々愛情をもって見守っていることがよく分かりました。

一洗舎クラブという伝統のあるボランティア団体の長として、苦勞なさることもあるでしょうが、生涯学習課は、全力で応援します。これからも板荷地区をよろしく願います。

令和4年度 鹿沼市地域学校協働活動研修会

対象 地域コーディネーターや、学校支援ボランティア活動に参加している方、
学校支援ボランティア活動にご興味のある方、公民館活動参加者など

鹿沼市では、変化の激しい社会環境の中、未来を担う子どもたちを社会総がかりで育てていこうとする目的で「地域学校協働活動」と「コミュニティ・スクール」の推進に取り組んでいます。他校、他地域で活動する方々との情報交換の場にもなりますので、ぜひご参加ください！

対象 地域コーディネーター、学校支援ボランティア、子どもの居場所事業ボランティア

日時・会場	内容	講師等
7月19日(火) 9:50~11:30 情報センター 2階 子育て情報室	グループワーク 「子どもたちと関わる中での悩み・課題について」	作新学院大学人間文化学部 教授 高浜 浩二 氏

対象 地域コーディネーター、学校支援ボランティア、子どもの居場所事業ボランティア、地域連携教員、公民館職員など

日時・会場	内容	講師等
9月6日(火) 13:00~16:00 上都賀庁舎	家庭教育支援プログラム指導者フォローアップ研修と共催 ※詳細については決定次第、後日参加申込者にお知らせします。	
10月18日(火) 13:30~15:15 南摩中学校 ランチルーム	対談フォーラム 「一本杉に学ぶ 若者の地域づくり」 ～学校支援と地域づくり(概要)～	一般社団法人 とちぎ市民協働研究会 代表理事 廣瀬 隆人 氏 一本杉農園 福田 大樹 氏
2月3日(金) 13:20~16:30 菊沢コミュニティセンター	上都賀地区ふれあい学習ネットワークと共催 ※詳細については決定次第、後日参加申込者にお知らせします。	

※ 希望する回のみ参加もOKです。
※ 新型コロナウイルス感染症等への対応により、研修内容を変更させていただく場合があります。

〈申込方法〉
裏面の申込書または、右のQRコードからメールにてお申し込みください。
(QRコードを読み込むと、メール作成画面に飛びます)

申込締切は

6月17日[金]

令和4年度の鹿沼市の研修案内のチラシです。
令和4年度より、「地域学校協働活動」と「コミュニティ・スクール」の研修会を一体的に進めています。
中津さん、皆さん、次年度の研修もお楽しみに！